

第1回 学校関係者評価委員会

1 実施日 令和2年8月31日 (月) 午後4時～5時00分

2 会場 図書室

3 参加者 学校関係者評価委員 中澤 弘 (教育振興会会長) 志村 成美 (教育振興会副会長)
清水 龍二 (教育振興会副会長) 戸澤 聡 (教育関係有識者)
勝上 誠 (上八田育成会会長) 竹山真由美 (主任児童委員)
大塚 貴子 (保護者代表・PTA会長 学校関係者評価委員長)
菊地めぐ美 (保護者代表・PTA副会長)
学校側 望月 政幸 (校長) 大原 千栄子 (教頭)
田原 和仁 (教務主任) (生徒指導主任)

4 学校側から提案された内容

- (1) 教職員自己評価 (教務主任) (2) 児童アンケート (生徒指導主任)
- (3) 保護者アンケート (教頭) についての解説や考察, 具体的な学校の様子を説明した。

5 協議された主な内容

学校側からの説明を受け, 学校関係者評価委員長が座長を務め, 座談会を行った。

※○……委員からの意見・感想 ☆……学校の考え

(1) 安心・安全について

【あいさつについて】

○児童にあいさつをしてもなかなか返してくれない。地域の方にもあいさつをするように学校からも再度指導をお願いしたい。

○白根地区ではあいさつ運動を展開している。子供たちを見守る視点から活動を行っているが, やはり子供たちのあいさつの声が小さかったり, あいさつが返ってこなかったりする。「声かけをしているのは地域でみんなを見ている。」ことのアピールである。様々な場面で児童への指導を行う必要がある。また, その理由も含め指導し, 分からせていく必要がある。

☆あいさつについては, 例年本校の課題になっている。今年度は児童会が中心となり自分からあいさつをするように取組を始めている。今後もあいさつの重要性について, 引き続き指導を行っていきたい。

【携帯・スマホの所持について】

○児童の携帯電話の所持はどのくらいか。

☆高学年になるにしたがって子供たちが携帯電を持っている割合があがっている。家庭でルールを決めて持たせている家庭が多い。今後も折に触れてSNS等の使用法等について指導していきたい。

【ゲームについて】

○コロナ禍の家庭での過ごし方から, ゲーム依存が問題だと考えている。ゲームのし過ぎで昼夜逆転の生活になり, 結局子供が犠牲になってしまう。ゲームの問題は, 意識的に取り組む必要がある。

☆ゲームについては, 課題が多い。今後学校でもしっかりと指導していきたい。

(2) 学習について

○児童アンケートNO8の「自分で考えたことをすすんで発表している。」の項目では、進んで発表をしたいができない児童がいると思われる。アンケートで%が低いことを問題にするのではなく、そこから指導につなげ、うまく発表できない児童の意見も授業等の中で拾ってほしい。

☆自分の考えは持ってはいるが、みんなの前で発表できない児童に対しては、担任がしっかりと実態を把握し、きちんとその考えを生かせるようまた、自信をもって発言できるように指導していきたい。

○「学校に行くのが楽しい」「勉強したことが分かる」は近似値になっている。これらに対する取組は。

☆生活については、いじめアンケートも取っているのもそちらからのアプローチも行っている。学習については校内研究を通し、自力解決の時間を取りながら分かる授業の工夫について研究を行っている。

○「地域の人材や文化財・自然環境などを積極的に教育活動に取り入れるように努力している。」の地域との学習とはどんなものがあるか。

☆1・2年生は生活科で地区探検等、3・4年生は総合的な学習で地域の方にゲストティーチャーとして、5・6年生も同様に学習内容によって地域の方に協力をお願いし、学習を深めている。

○児童の学力差や個人差が心配である。コロナ禍だから差がみられたのか。また、特別支援児童の指導やその他の児童支援について、支援スタッフは入ってもらえているのか。

☆本年度支援スタッフを2名確保することができた。また、高学年の学習補助で1名の教師が指導に当たれることになった。今後も、県や市に学習支援スタッフの確保のお願いをしていく。

【運動会について】

○運動会の計画はどうなっているか。また、児童の思いを吸い上げられてきているのか。

☆7月に計画を打ち出し、閉会式・応援は行わない、密にならない、接触しない等の制約を守りながら、ブロック開催を予定している。演技内容も表現と競争競技のみとし、保護者の人数制限と自分の子供の時だけ観覧エリアから見もらう。児童の意向は反映できないが、高学年の係活動を取り入れた。

【修学旅行について】

○修学旅行はどうか。キャンセル料について、またGO TO キャンペーンの対象にはなるか。

☆東京には行けない。神奈川と静岡を考えているが、神奈川の感染者が大勢になった場合には1泊2日、静岡のみの可能性もある。市教委等のキャンセル料負担はない。キャンペーンの対象にはなっている。

(3) 生活について

【育成会活動について】

○今年度はコロナ禍で育成会として活動は何も行っていない。夏休みの行事も今後の行事もみな中止になった。楽しい行事が行えないが、子供たちに与える影響はあるか。機会があったら聞いてほしい。

○コロナの影響で育成会の行事が行えない。学校関係者でない一般の者が行って何かあっても責任が取れない。途切れさせずに繋げていきたいのだが・・・。

☆今後、児童の様子をよく見ながら、育成会の活動について聞いていきたい。

(4) その他について

【多忙化改善について】

○学校現場はとても大変なことは明らかで、教員の多忙化が問題になっている。教職員アンケートでもなかなか改善されないことが分かった。多忙化解消に向けて、まずは会議の終了時間を決めることが大切だと思う。また、事前に議題内容を検討しておいたり、軽重をつけたりすることが大切である。終了時間になったら、きっぱりやめて後日の検討にすることも必要である。

○コロナ対応で時間を取られすぎていて、子どもとの接し方が少なくなっている。

☆喫緊の課題である。会議や行事の精選を行いながら、勤務の効率化を図っていきたい。

【教職員評価について】

○教職員評価の視点を明確にすることが大切である。P D C Aの観点からプラン（P）を出したら評価（C）を行いAが50%を超えたら成果が出ている、Aが少ないのはどうしてかを分析・改善（A）していく必要がある。また、評価の観点を先生方にきちんと示し、評価していく必要がある。

☆教師の自己評価について、きちんと観点を示していくことはとても大切だと考えている。これから取り組んでいかなければならない課題である。大変参考になるご意見をいただきありがたい。

6 全体評価

全体傾向を把握するため、[A：そう思う][B：ほぼそう思う]評価を肯定的評価とし、それらの合計が80%を超えている場合は『満足できる状況』、[C：あまりそう思わない][D：そう思わない]評価を否定的評価とし、それらの合計が20%を超えている場合は『改善の余地がある』と判断している。

(1) 教職員自己評価について

35問中34問において、肯定的評価80%を超えている状況から、満足できる状況にあると考えられる。改善の余地があると判断される内容は、「各教員が、多忙化解消に向け、意識した取り組みを実践している。」である。このことは、協議の中でも話題になり、原因を探り改善にむけて取り組むようにしたい。「地域の人材や文化財・自然環境などを、積極的に教育活動に取り入れるよう努力している。」については、ややポイントが伸び悩んだ。コロナ禍の影響が出ている。

(2) 児童アンケート評価について

11問中10問において、肯定的評価80%を超えている。昨年度に引き続き、改善の余地があると判断される内容は、「自分で考えたことを、進んで発表している。」である。「勉強がわかる」「しっかり聞く」は肯定的な評価を得ている。今後も校内研究を柱に、自分の意見を持ち、主体的に学習に取り組み、自分の考えを発信できる児童を育てていきたい。

(3) 保護者アンケート評価について

20問中16問において、肯定的評価80%を超えている。コロナ禍である今年度は、授業参観等で保護者に学校や児童の様子を見てもらう機会が設けられなかった。そのため、その内容に関連する2項目のポイントが低かった。改善の余地があると判断されるのは、昨年度に引き続き「子どもは、学習がわかり、基礎学力が身についている。」である。教職員自己評価や児童アンケートと関連した内容であり、この項目の肯定的評価の向上に向けて継続して努めていく必要がある。

(4) まとめ

新型コロナウイルス感染予防のため様々な制約がある中ではあるが、各評価について高い水準で肯定的に回答されていることは、本校の教育活動が安定して行われていると考えることができる。改善の余地がある項目については、学習に関わる内容であり、努力すべき課題が明確になった。

7 今後の課題として意識されたこと

- (1) 具体的な本校の課題としては、児童の安全安心な環境づくりと学力向上への対応である。そのために、保護者や外部機関と連携を図りよりよい環境づくりに努めていきたい。さらに、校内研を活性化させ、教職員の指導力を向上させていく。そして、学校教育目標の具現化を図っていく。
- (2) 保護者は、学校への期待がある。学校は、安心安全な環境作りに努めその期待に応えていく。また、児童の学力向上を目指しながら保護者の信頼を得る教育活動を行っていく。

8 特記事項

特になし

